



レッツスポーツ!!

Let's Sports!!

第84号

平成20年6月1日
発行
財団法人 稚内市体育協会
会長 門間 松美
〒097-0027 稚内市富士見4丁目
稚内市総合体育館内
(財)稚内市体育協会事務局
TEL28-1111/FAX28-1112
E-mail:taikyo@wakkanai-sports.or.jp
URL http://www.wakkanai-sports.or.jp

北海道レベルの競技大会がめじろ押し

平成20年度に開催されるスポーツ大会

財団法人稚内市体育協会に加盟する団体や、行政のスポーツ大会誘致活動などが実を結び、今年も数々の全道レベルのスポーツ競技大会が開催されます。平成7年以来、13年ぶりとなる「北海道障害者スポーツ大会」をはじめ、4種目の競技に6大会がめじろ押しとなっております。これに伴って、全道各地から集まる選手や競技関係者

もおよそ三、〇〇〇人が予想され、流動人口の入込による経済効果が見込まれます。今号では、今年行われるスポーツ大会を紹介いたしますので、「最北の熱き戦い」の観戦又はわがマチの代表チーム(個人)を応援するなど、地元で開催されるスポーツ大会をおおいに盛り上げましょう。《開催期日順》

高校柔道



第58回北海道高等学校柔道大会兼第57回全国大会北海道予選会
【高等学校体育連盟主催】
○日時 6月18日(水)〜20日(金)
○会場 総合体育館
○参加予定者数 650人

障害者スポーツ大会



第46回北海道障害者スポーツ大会(陸上競技以外)
【(財)障害者スポーツ 振興協会主催】
○日時 7月20日(日)
○会場 総合体育館ほか
○参加予定者数 500人
※陸上競技は同日豊富町陸上競技場で開催されます。

一般軟式野球



天球杯第63回全日本軟式野球北・北海道大会
【軟式野球連盟主催】
○日時 6月25日(金)〜28日(日)
○会場 大沼球場・大沼第2球場
○参加予定者数 300人

一般バスケットボール



北海道バスケットボール交歓大会
【バスケットボール協会主催】
○日時 9月12日(金)〜15日(日)
○会場 総合体育館・市体育館・緑体育館
○参加予定者数 600人

小学校バレーボール



第28回全日本バレーボール小学生大会北海道大会

上競技場で開催されます。

中学バスケットボール



第38回全国中学校バスケットボール大会北海道予選会

トボール大会北海道予選会

少年軟式野球



太陽杯争奪第15回全道少年軟式野球選抜大会

○参加予定者数 400人

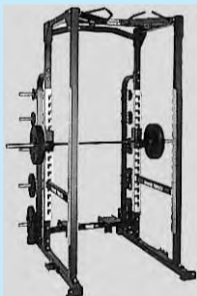
総合体育館トレーニング室 プロフェッショナル仕様にリニューアル

総合体育館トレーニング室(2階)は、昭和56年オープン以来、筋力トレーニングと健康体力増進の2面性を備えた施設として利用されています。近年、施設の老朽による器具の更新時期を迎えていました。また、昨年市や体育協会が取り組んでいる合宿誘致活動に対して、道内のプロバスケットボールチームや大学スポーツクラブの合宿が実現すると同時に、トレーニング室(器具)の充実が要望されています。こうした経緯を踏まえ、市では今年度、本格的なプロフェッショナル仕様のバーベルおよびダンベルセットとこれに伴う補助器具を備えました。これにより合宿のみならず、市民の利用者にも、高度なトレーニングのバリエーションを提供できるほか、トレーニング室のレイアウトもフリーウエイトスペースを確保するなど、トップアスリートはもとより、特にマッチョな身体づくり志向のビルダーにお勧めです。次に、リニューアルされた主なトレーニング器具を紹介いたします。

■オリンピック・ヘビーデューティ・パワーラック9F(フィート)

【ライフ・フィットネス社製】

特徴:身長2メートルを超える選手にも対応できるほか、特に安全面を重視したバーベルラックで、様々なトレーニングのバリエーションを兼ね備えています。



ちなみに「9フィート」のバーベルラックは道内初の導入です。

- フラット・ベンチ
- アジャスタブル・ベンチ
- インクライン・ベンチ

【ライフ・フィットネス社製】



- 重量固定式ダンベルセット
- 重量固定式バーベルセット《50mmオリンピックモデル》

【IVANKO:イヴァンコ社製】

特徴:計算されたバランス、グリップ感、使用感に人気があり、世界中のトップビルダーや、アスリートたちが愛用しています。



今年もレラカムイの合宿が予定されています!!!

稚内市と財団法人稚内市体育協会が進めてきた、合宿誘致活動の成果として、今年も北海道内のプロバスケットボールチーム「レラカムイ」が、8月11日から17日までの日程で、総合体育館を拠点に合宿が予定されています。同チームでは、折茂選手や桜井選手の主力に加えて、今年は国内トッププレイヤーの補強に成功したほか、昨年活躍した外国選手が再び契約する見込みとなっており、東野ヘッドコーチ指揮の元でチーム創設2年目にして日本リーグの優勝も期待されます。稚内バスケットボール協会では、受け入れ体制を整えるほか、中・高生が参加できる講習会等の準備をしています。

地元で合宿するプロチームを全市民で応援しましょう

